

人権啓発に関するアンケート調査結果

人権施策推進課

1 調査目的

県では、県民の皆さんに、女性、子ども、高齢者、障がい者、部落差別(同和問題)などさまざまな人権問題に関する正しい理解を深めていただき、「一人ひとりの人権が尊重される差別のない社会」を実現するため、総合的かつ効果的な人権教育・啓発の推進に取り組んでいます。

そこで、人権問題に対する県民の皆さんの意識や生活の現状を把握し、今後の人権施策の基礎資料とさせていただくため、アンケート調査を実施しました。

2 調査対象等

調査対象: 県政モニター839人(郵送モニター:194人 インターネットモニター:645人)

調査方法: 郵送及びインターネット

調査期間: 令和6年10月4日～10月31日

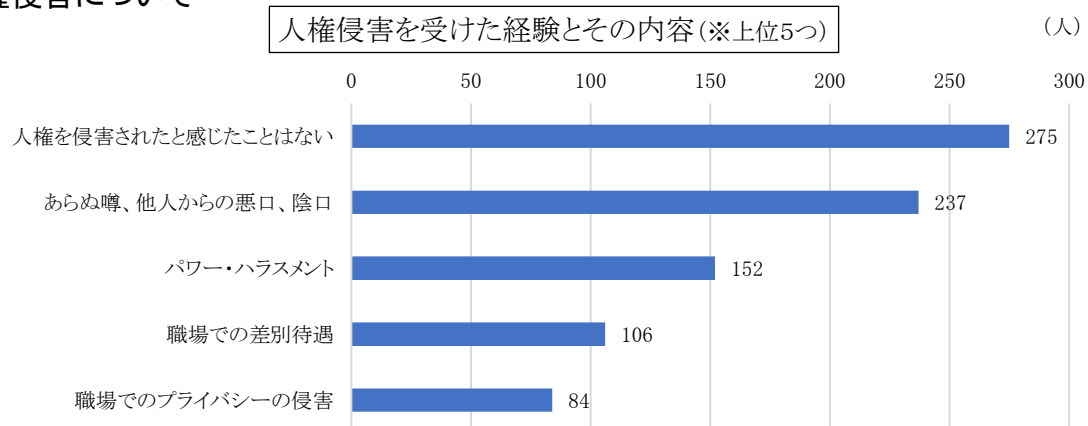
回収結果: 732人(回収率87.2%)

構成比はパーセントで表し、小数点以下第2位を四捨五入して算出しています。

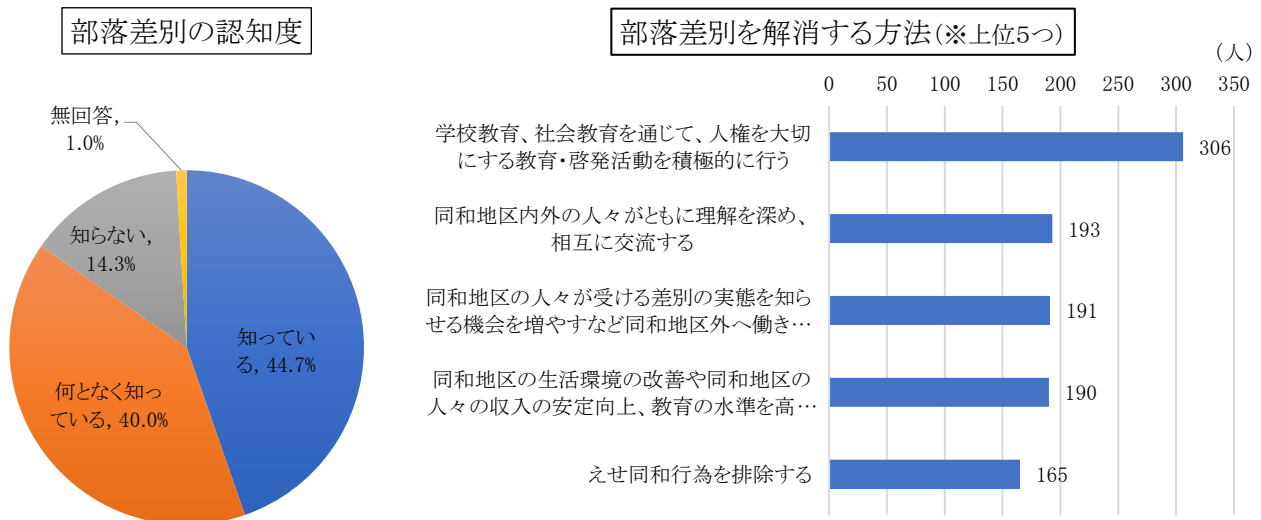
そのため、合計が100%にならない場合があります。

3 結果概要

○人権侵害について



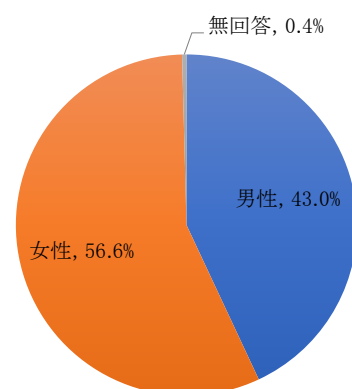
○部落差別(同和問題)について



4 回答者属性

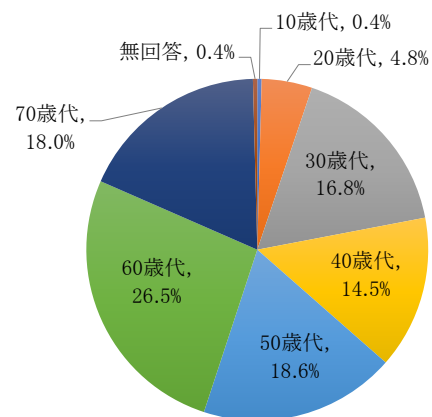
(1) 性別

	人数	割合
男性	315	43.0%
女性	414	56.6%
無回答	3	0.4%
計	732	100.0%



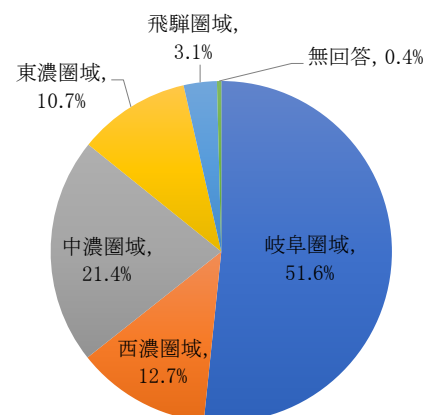
(2) 年代別

	人数	割合
10歳代	3	0.4%
20歳代	35	4.8%
30歳代	123	16.8%
40歳代	106	14.5%
50歳代	136	18.6%
60歳代	194	26.5%
70歳代	132	18.0%
無回答	3	0.4%
計	732	100.0%



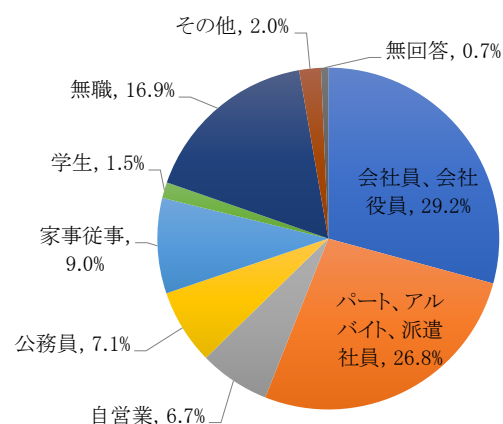
(3) 居住圏域別

	人数	割合
岐阜圏域	378	51.6%
西濃圏域	93	12.7%
中濃圏域	157	21.4%
東濃圏域	78	10.7%
飛騨圏域	23	3.1%
無回答	3	0.4%
計	732	100.0%



(4) 職業別

	人数	割合
会社員、会社役員	214	29.2%
パート、アルバイト、派遣社員	196	26.8%
自営業	49	6.7%
公務員	52	7.1%
家事従事	66	9.0%
学生	11	1.5%
無職	124	16.9%
その他	15	2.0%
無回答	5	0.7%
計	732	100.0%

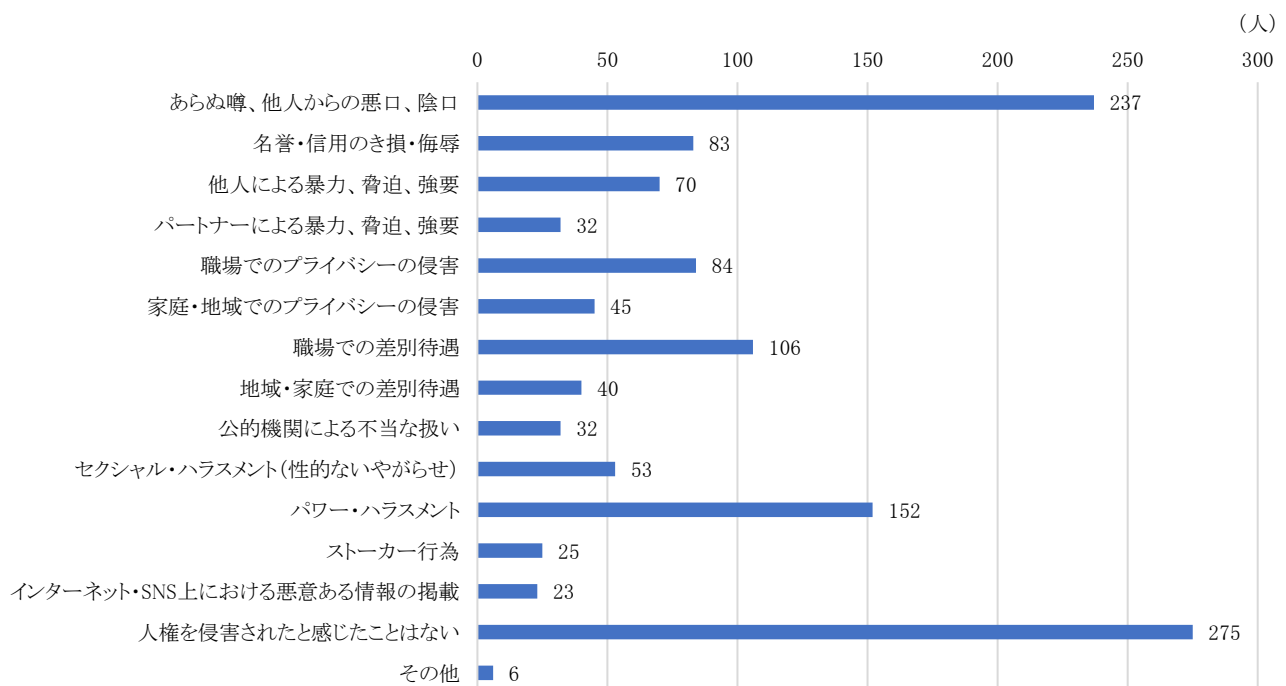


5 調査結果

問1 あなたは、これまでに人権を侵害(暴力、脅迫、強要、プライバシーの侵害、差別待遇等)されたと感じたことがありますか。
また、侵害されたと感じたことがある場合、それはどのような人権侵害ですか。

回答者 732 人(複数回答)

	回答数	割合
あらぬ噂、他人からの悪口、陰口	237	32.4%
名誉・信用のき損・侮辱	83	11.3%
他人による暴力、脅迫、強要	70	9.6%
パートナーによる暴力、脅迫、強要	32	4.4%
職場でのプライバシーの侵害	84	11.5%
家庭・地域でのプライバシーの侵害	45	6.1%
職場での差別待遇	106	14.5%
地域・家庭での差別待遇	40	5.5%
公的機関による不当な扱い	32	4.4%
セクシャル・ハラスメント(性的ないやがらせ)	53	7.2%
パワー・ハラスメント	152	20.8%
ストーカー行為	25	3.4%
インターネット・SNS上における悪意ある情報の掲載	23	3.1%
人権を侵害されたと感じたことはない	275	37.6%
その他	6	0.8%
無回答	23	3.1%
計	1286	-



「その他」のうち主なもの

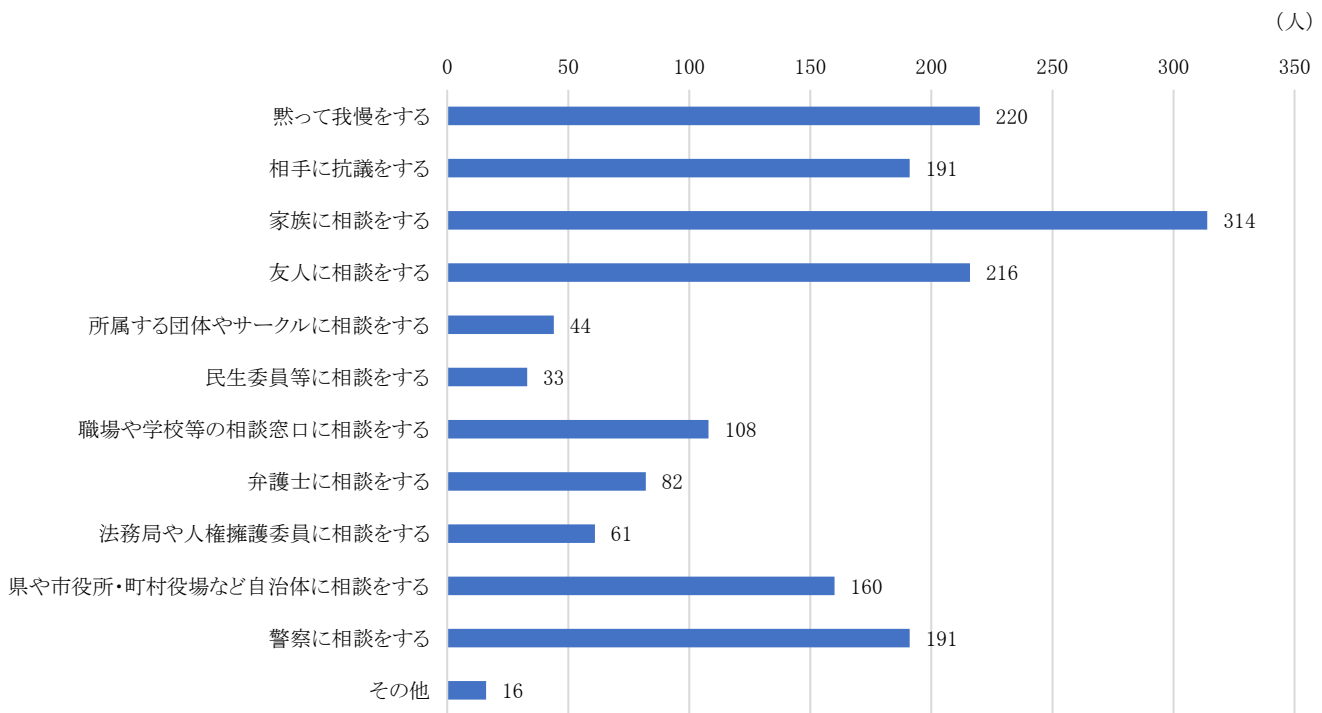
- ・ 職場での悪口、陰口
- ・ 身体が小さいことを理由に、子どもができないと言われた。
- ・ 若い頃、被差別部落出身者と間違えられ差別された。
- ・ 土地問題で、土地を取られてしまった。

等

問2 もしも人権侵害を受けた場合、どのような対応をしますか。

回答者 732 人(複数回答)

	回答数	割合
黙って我慢をする	220	30.1%
相手に抗議をする	191	26.1%
家族に相談をする	314	42.9%
友人に相談をする	216	29.5%
所属する団体やサークルに相談をする	44	6.0%
民生委員等に相談をする	33	4.5%
職場や学校等の相談窓口相談をする	108	14.8%
弁護士に相談をする	82	11.2%
法務局や人権擁護委員に相談をする	61	8.3%
県や市役所・町村役場など自治体に相談をする	160	21.9%
警察に相談をする	191	26.1%
その他	16	2.2%
無回答	15	2.0%
計	1651	—



「その他」のうち主なもの

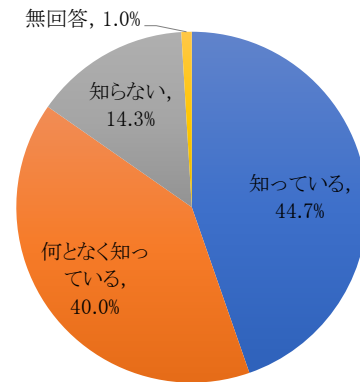
- ・ 内容に応じて対応を考える。
- ・ 相談というより、知人に愚痴を聞いてもらう。
- ・ 信頼できる仲間に相談して対処方法を考える。
- ・ インターネットで検索する。
- ・ どこに相談したらいいのかわからない。
- ・ 上司に相談する。

等

部落差別(同和問題)について

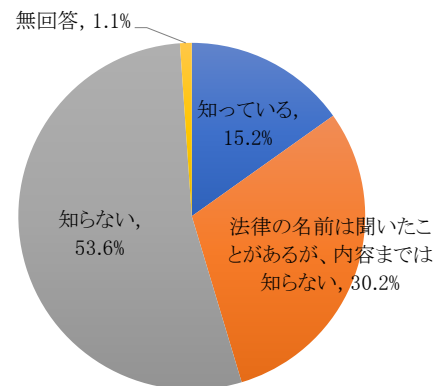
問3 部落差別又は同和問題といわれているものがどういう内容のものか知っていますか。

	回答数	割合
知っている	327	44.7%
何となく知っている	293	40.0%
知らない	105	14.3%
無回答	7	1.0%
計	732	100.0%



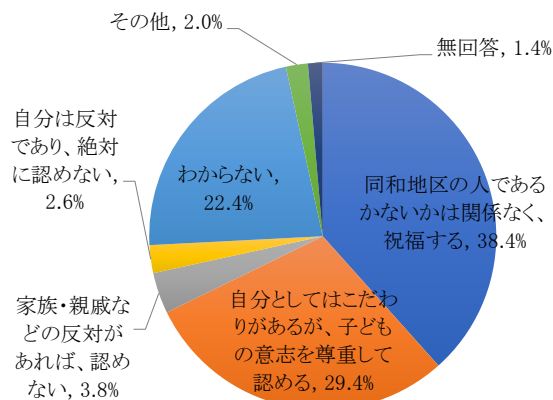
問4 あなたは、「部落差別の解消の推進に関する法律(部落差別解消推進法)」を知っていますか。

	回答数	割合
知っている	111	15.2%
法律の名前は聞いたことがあるが、内容までは知らない	221	30.2%
知らない	392	53.6%
無回答	8	1.1%
計	732	100.0%



問5 あなたのお子さんが(いらっしゃらない場合は、いと仮定してお考えください)、同和地区出身者の人と結婚するとしたら、あなたはどうしますか。

	回答数	割合
同和地区の人であるかないかは関係なく、祝福する	281	38.4%
自分としてはこだわりがあるが、子どもの意志を尊重して認める	215	29.4%
家族・親戚などの反対があれば、認めない	28	3.8%
自分は反対であり、絶対に認めない	19	2.6%
わからない	164	22.4%
その他	15	2.0%
無回答	10	1.4%
計	732	100.0%



「その他」のうち主なもの

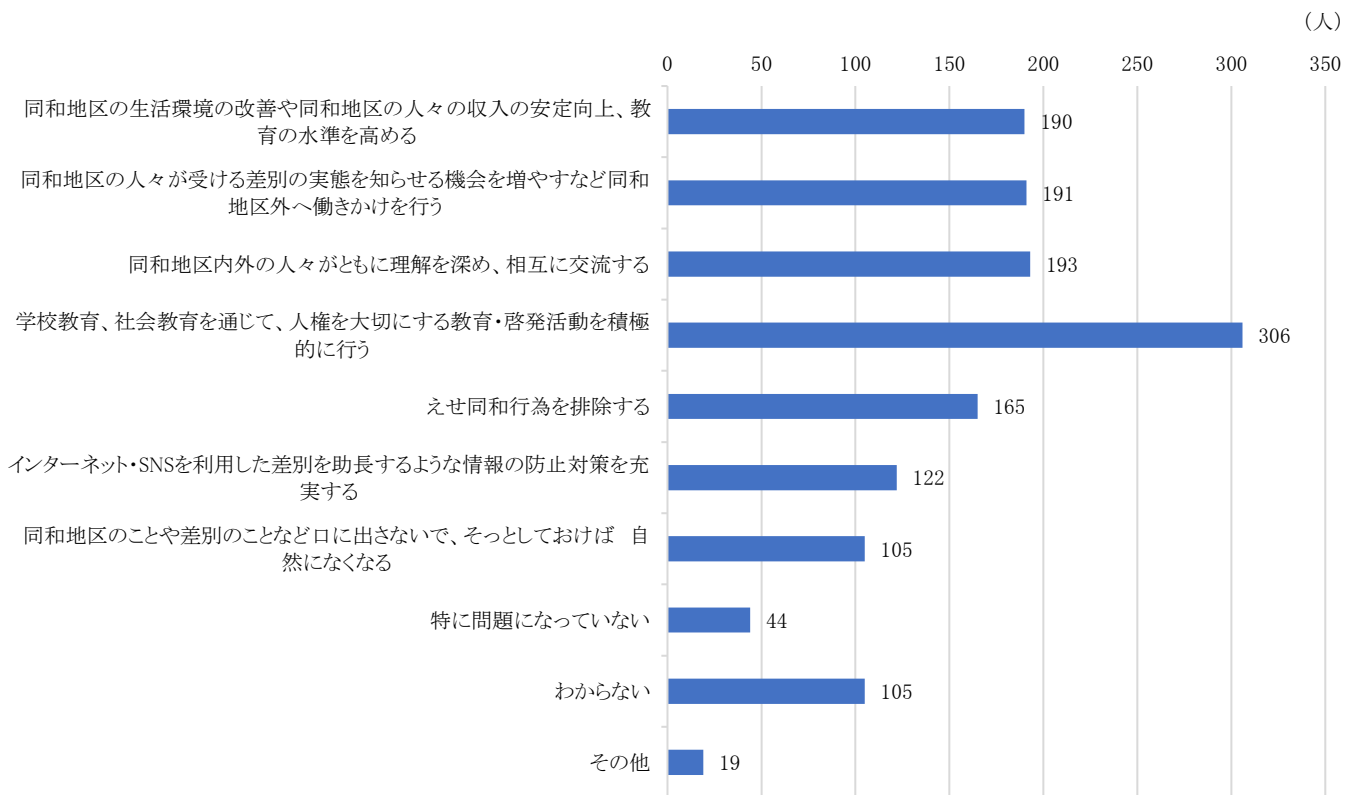
- ・ 相手の人間性次第。
- ・ 相手となる人の性格、人柄など出身地以外の点をよく見て賛成するかどうか判断する。
- ・ そもそも同和地区がどこなのか知らない。
- ・ 意思を尊重し認めるが、様々な問題を乗り越える勇気が持てるか確認する。
- ・ 仮定では答えられない問題。

等

問6 部落差別(同和問題)を解消するためには、どうしたらよいとお考えですか。

回答者 732 人(複数回答)

	回答数	割合
同和地区の生活環境の改善や同和地区の人々の収入の安定向上、教育の水準を高める	190	26.0%
同和地区の人々が受ける差別の実態を知らせる機会を増やすなど同和地区外へ働きかけを行う	191	26.1%
同和地区内外の人々がともに理解を深め、相互に交流する	193	26.4%
学校教育、社会教育を通じて、人権を大切にする教育・啓発活動を積極的に行う	306	41.8%
えせ同和行為を排除する	165	22.5%
インターネット・SNSを利用した差別を助長するような情報の防止対策を充実する	122	16.7%
同和地区のことや差別のことなど口に出さないで、そっとしておけば 自然になくなる	105	14.3%
特に問題になっていない	44	6.0%
わからない	105	14.3%
その他	19	2.6%
無回答	7	1.0%
計	1447	—



「その他」のうち主なもの

- ・ 県のホームページなどで啓発動画を流したり、ラジオでCMを流したりする。
- ・ 憲法第14条を遵守すること。
- ・ 若い世代には知らない人が多いと思う。
- ・ そもそも同和で差別されている人を見たり聞いたりしたことがない。ほとんど解決できているものだと感じている。
- ・ 小学校のころ授業で受けた知識はあるが、昔の事で今は差別はないと認識していた。
- ・ 騒ぎ立てたてるから差別になる。昔とは違うのだから普通に対応すれば良い。